

Youth Manna

マルコ1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2024/1/22(月)

マタイ10:1-15

イエスは、12弟子を宣教に遣わすにあたり、次のことを弟子達に指示した。
①異邦人の道、サマリア人の町に行つてはいけない。イスラエルの家の、失われた羊達の所に行くように。(5-6)
②行って、「天の御国が近づいた」と宣傳するように。(7) また、ただで受けたのだから、ただで与えなさい。(8)
④色々準備をしすぎないように。必要なものは与えられる。(9-10)
⑤町や村に入ったら、そこで誰が相応しい人がよく調べ、そこを立ち去るまで、その人の所に留まりなさい。その家に入るときは平安の挨拶をするように。(11-14)

★今日、君が置かれている場所で誰が福音を受け入れる準備ができているだろうか。誰か相応しい人がいるか(「平安の子」がいるか(ルカ10:6)) 祈って探してみよう！今いなくても、自分にとっての平安の子が与えられるように祈ろう。

2024/1/23(火)

マタイ10:16-33

イエス様は福音宣教は狼の中に羊を送るようなもので簡単ではないと言いました。(16)私達はそのような時迫害してくる人を恐れてしまうがイエス様は小さな雀でさえ忘れずに大切に思ってください。天の父が私たちをもっと価値があり大切だと言ってください。から恐れる必要はないと語ります(28-31)

- 祈ろう！！
- 蛇のようにさとく、鳩のように素直に生きれるように
- 人ではなく天の父を恐れてイエス様を伝えていけるように

2024/1/24(水)

マタイ10:34-42

今日のみことばはどのような意味なのだろう？何か覚悟が迫られるようなことが書いてあるね。
イエス様を信じる人の歩みは、この世の人たちとは異なるものとなる。多くのクリスチャンが迫害を受けてきた歴史は確かにあるし、今もイエス様を信じているということで差別されたり人と距離を置かれることもあるかもしれない。だけどイエス様は弟子たちに、他の何よりもイエス様を愛するようと言っているんだ。
●みんなは人間関係でどんな恐れがある？その恐れが信仰を妥協させてしまうことはあるだろうか？
●あなたの人生の王様は自分？それともイエス様？自分の心に何があるか考えてみよう！

2024/1/25(木)

マタイ11:1-19

15v「耳のあるものは聞きなさい」イエスさまは述べている。私たちは聖書からたくさんのイエスさまの業を見て、知って、イエスさまを救い主と告白し、クリスチャンとして歩んでいる。または歩もうとしている。ただ必ずしも全てを選びとって歩めていない部分もある。だからこそ祈り、仲間と励まし合いながら力強く歩もう！

弱っていないだろうか？弱っている仲間はいないだろうか？
改めて神様を選び取る決断をしよう！聞くべきことを聞き、見るべきものを見て、惑わされないようにしましょう！

2024/1/26(金)

マタイ11:20-30

●28-29vを読もう。疲れた人、重荷を負った人は、どうしなさいと勧められているかな？

●「わたし」とはイエス様のことだ。イエス様のもとにいったらどんな良いことがあるかな

●人は誰でも疲れたり、心配したりする(試合がある、勉強しなきゃ、友達の悩みが重い、家族が心配、お金が心配...)。そんなとき、まず何をするか大切なんじゃないかな。イエス様と時間を過ごすのが良いって分かっているのに、まず心配をうめることに必死になってること、ない？

2024/1/27(土)

マタイ12:1-8

イエス様の弟子たちに、安息日に畑の麦を食べていたことを責めるパリサイ人たち。そのパリサイ人たちに、イエス様は形だけでなく本当の意味で神様が求めているもの、聖書が語っていることを語られたね。7節をもう一度読んでみよう！

みことばを実際の生活や行動にして行く時、真実の愛を土台にするべきだってイエス様は教えている。私たちが物事を考える基準はどこから来ているかな？神様と人への愛から出ているか、静まって考えてみよう！

2024/1/28(日)

マタイ12:9-21

今日の箇所の前半はイエス様とパリサイ人たちの安息日を巡っての論争の続きだよ。パリサイ人の質問に対してイエス様は一匹の羊を用いて答えられた。羊を飼っている人にとって一匹の羊は大切なものであるが、人間の価値はそのような羊以上のものであるとして語られた。

「良い」という言葉は、辞書では「物事の本性、状態が好ましく、満足すべきさまであること」であるが、ユダヤ人たちにとってはあくまでも律法にかかっているということであった。しかし、問題は彼らが律法の本質をわきまえていなかったことにある。イエス様のことばは文字どおり、次元の違う良いことを示しておられるのである。イエス様の行ったみわざはパリサイ人がイエス様の殺害を決意するきっかけとなった。
祈り：みことばを読んで、イエス様のみわざを知ることが、イエス様を信じるきっかけとなりますように。